

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名		水道記念館管理業務事業			事業コード	1265
担当課等	所属名	上下水道局 米内浄水場			担当係名	
	課長名	上下水道局 浄水課長	担当者名	上下水道局 米内浄水場	電話番号	6900

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	快適な都市機能	コード 7	施策	いつでも信頼される上水道事業の推進	コード 5
	基本事業	安定給水の確保	コード 1			関連予算 費目名
	特記事項					
	事業期間	○ 単年度 ● 単年度繰返 ○ 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 昭和59年度～)	
事務事業の概要	水道使用者に対する水道事業の啓蒙・PR					
根拠法令等						
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
昭和59年に盛岡市水道事業創設50周年を記念して旧管理事務棟を記念館として開館した。その後、平成11年に登録有形文化財として登録されたのを契機に平成14年に展示内容をリニューアルし現在に至る。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
・盛岡市の近代化に貢献した施設を大事に保存するようにとの意見がある。(近代水道百選、登録有形文化財、市指定保存建造物、市指定保存樹木) ・来場者から展示物拡充の要望がある。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
・水道記念館は、盛岡市の保存建造物に指定されており創設当時の現状を損ねるような改修はできない。むしろ保存建造物は創建時の状況に近づけることが望ましいとされている。 ・当記念館は米内浄水場の敷地内にあり、また、米内地区には、クリーンセンター、リサイクルセンターが立地していることから、環境学習を目的とした来場者が多い。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	米内浄水場来場者	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 施設見学者	単位	人
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ・米内浄水場内の水道記念館の維持管理を行った。 ・小学生の社会科見学、総合的学習、水道施設見学会を主体に、水道の歴史、水環境保護の大切さをPRした。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 地震で被害を受けたため閉館中である。修繕実施後は、22年度と同様に実施する。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 水道記念館見学者	単位	人
				B. 水道記念館公開日数	単位	日
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	・盛岡市の水道事業及び水の大切さを理解してもらう。 ・自然環境の大切さを理解してもらう。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 水道記念館見学者率=(水道記念館見学者/施設見学者)×100 【指標の性格:● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	%
				B. 【指標の性格:○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	
				C. 【指標の性格:○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	安全でおいしい水が安定供給される	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	有効率(単位:%) 耐震化率(単位:%) 残留塩素(単位:mg/l)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	施設見学者	人	32,937	32,080	37,600	21,582	37,600	37,600	26 年度 37,600
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	水道記念館見学者	人	3,314	889	4,000	2,150	4,000	4,000	26 年度 4,000
活動 指標B	水道記念館公開日数	日	230	230	230	230	230	230	26 年度 230
活動 指標C									年度
成果 指標A	水道記念館見学率=(水道記念館見学者/施設見学者)×100	%	10.06	2.77	10.64	9.96	10.64	10.64	26 年度 10.64
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	0	0	0	0	0	0	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	*****
	⑧その他	千円							*****
	合 計 (④～⑧) (=A)	千円	0	0	0	0	0	0	*****
延べ業務時間数		時間	112	34	80	87	80	80	*****
職員人件費 (B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)		千円	448	136	320	348	320	320	*****
トータルコスト (A)+(B)		千円	448	136	320	348	320	320	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性 評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結び ついていますか？	☐ 見直す余地がある ☒ 結びついている	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成す る目的ですか？	☐ 見直す余地がある ☒ 妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げら れませんか？ また絞らなくてよいですか？	☒ 拡大または絞る余地がある ☐ 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりし て、成果向上できませんか？	☒ 拡大または絞ることができる ☐ 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
有効性 評価	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	☒ 向上余地がある ☐ 向上余地がない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影 響はありますか？	☐ 影響がない ☒ 影響がある	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありま せんか？	☒ 類似事業がある ☐ 類似事業がない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
効率性 評価	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を節減できる余地はありませ んか？	☒ 削減余地がある ☐ 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減す る余地はありますか？	☒ 削減余地がある ☐ 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	☐ 適正化余地がある ☒ 公平・公正である ☐ 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
公平性 評価	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	☐ 適正化余地がある ☒ 公平・公正である ☐ 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ

理由:小学生の社会科見学、一般市民の施設見学を主体に水道の大切さ、水環境保護の重要性を啓蒙する目的で、保存建造物を活用している。

「妥当」とする理由: ☐ 法定事務である ☐ 内部管理事務である ☒ その他

理由:ライフラインとしての水道の重要性を理解してもらうためにも、啓蒙・PRの一環として水道事業を営んでいる市が行うことが妥当である。

「妥当」とする理由: ☐ 法定事務である ☐ 内部管理事務である ☐ その他

理由:展示物の拡充が求められており、そのためには保存建造物の改造が伴う。

「妥当」とする理由: ☐ 法定事務である ☐ その他

理由:上水道の歴史として、創設時に特化した展示とする。

その内容:創設時以外の展示物を他の公開浄水場に統合する。

その内容:盛岡市水道事業の歴史、水環境保護を目的とした啓蒙・PR活動に支障をきたす。

事業名:新庄浄水場等運転・管理業務事業

※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？

統廃合・連携検討 ☒ できる ☐ できない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ

その内容:展示内容を1箇所集中することで学習成果が向上する。

その内容:保存建造物に特化した管理で足る。

その内容:説明に要する時間が短縮される。

理由:水道利用者以外にも開放している。

理由:盛岡市水道事業の啓蒙・PR事業の一環として実施しているものであり、受益者負担はなじまない。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 活用は保存建造物に特化し、敷地内の他の施設群一体に管理する。新たな展示施設の計画を立案し、記念館を創設当時に復元する。 ②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 保存建造物を改造等を行う場合は、盛岡市自然環境及び歴史的環境保全条例の届出が必要となる。
---------	---

5. 課長意見

一次評価	(1)一次評価者としての評価結果 <table><tr><td>① 必要性</td><td>☐ 妥当</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>② 有効性</td><td>☐ 妥当</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>③ 効率性</td><td>☐ 妥当</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>④ 公平性</td><td>☒ 妥当</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr></table>	① 必要性	☐ 妥当	☒ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 妥当	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☐ 妥当	☒ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 妥当	☐ 見直し余地あり	(2)全体総括(振り返り、反省点) 小学生の社会科学見学、一般市民の施設見学を主体に水道の大切さ、水環境保護の重要性を啓蒙する目的で、保存建造物を活用しているが、その効果を一層向上させるためには、展示内容の見直しが必要である。
① 必要性	☐ 妥当	☒ 見直し余地あり												
② 有効性	☐ 妥当	☒ 見直し余地あり												
③ 効率性	☐ 妥当	☒ 見直し余地あり												
④ 公平性	☒ 妥当	☐ 見直し余地あり												
今後の方向性と改革改善案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <table><tr><td>☐ 終了</td><td>☒ 継続</td><td rowspan="3"> → ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ☒ 改革改善を行う ☐ 事業統廃合・連携 </td></tr><tr><td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td></tr></table> ↓ 方向付けの理由と改革改善の内容 記念館を創設当時に復元する内容を含む、新たな展示施設の計画を立案する。		☐ 終了	☒ 継続	→ ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ☒ 改革改善を行う ☐ 事業統廃合・連携	☐ 廃止	☐ 休止							
☐ 終了	☒ 継続	→ ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ☒ 改革改善を行う ☐ 事業統廃合・連携												
☐ 廃止	☐ 休止													